

第42号

# こうろく

～晃麓～

発行所: 栃木県日光市板橋2610-1

社会福祉法人 すぎなみき会

発行責任者 理事長 峯山 敏正

令和2年8月10日発行

Tel:0288-27-3100 Fax:0288-27-3700

E-mail:sugigaku@hyper.ocn.ne.jp

URL:http://www.suginamikikai.jp



## 目次

- 特集 BACK TO  
THE KOUROKU...2  
コロナウイルス対策  
について...4  
施設長だより・  
副施設長コラム...5  
みつみね通信 ...6  
梅の実・梅のはな通信...7  
すぎなみきトピックス...8

アンパンマン  
空を飛ぶ!



特集

# BACK TO THE KOUROKU

今回はコロナ騒動で行事等も自粛され、皆かなり大変な時期でした。テレビでも収録できず再放送や総集編ばかり…。今回はこれになりってこうろくの再放送を企画してみました。すぎなみき会の19年の歴史を振り返ってみます。あの職員も利用者さんも若かった…。過去のこうろくへアレイバック！



5号

大洗方面への一泊家族旅行がありました。



近隣地域との交流特集が組まれていました。

10号

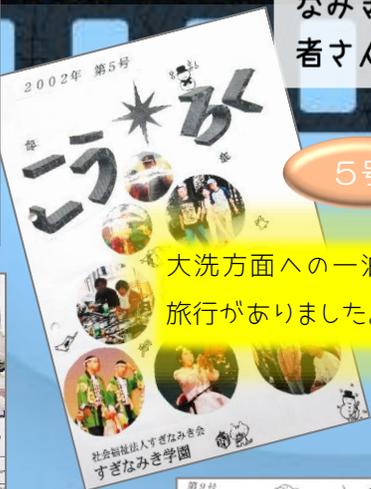


15号

たけのこ掘りに餅つき大会！今も続いている行事の特集でした！



19号



4号



3号



1・2号

NOT FOUND!  
SORRY...

2002~



9号



8号



7号



6号



14号



13号



12号



11号



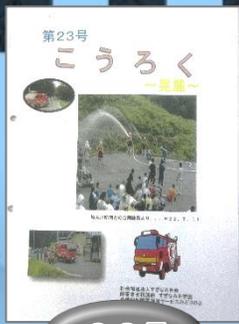
18号



17号



16号



23号



22号



21号



20号

班毎に目的地を変えた旅行の特集でした。



27号



26号

お花見会やバーベキュー会と楽しさ満載の記事でした!



25号



24号



32号



31号

ご家族と一緒に音楽鑑賞や外出をした時の特集でした! 楽しそう!



30号



29号



28号



37号



36号

1年間の行事のまとめの記事特集でした。



35号



34号



33号



41号

令和元年第1号! 東京日帰り旅行特集号でした。



40号



39号



号外



38号

3 TO BE CONTINUED

以上42種!(うち2種不明)これからもこうろくをよろしくお願いします!

医務室のお知らせ

# ナースのおことば



## コロナウイルス対策について



世界中で猛威を振るい、今現在も収束していない新型コロナウイルス。

2019年11月に中国にて発生し、日本には2020年1月より拡散されたと言われています。現在、特定の治療法は見つかっておりませんが、既存の抗ウイルス薬を流用することはできるとしています。3月11日には世界保健機関（WHO）が「パンデミック」（世界的流行）という認識を示しました。2020年8月現在、感染は160カ国以上を超え、感染者数は約1800万人、死者数は約70万人を数えています。

典型的な症状・徴候としては発熱、空咳、疲労、喀痰、息切れ、咽頭痛、頭痛、下痢などがあります。症状は特異的ではなく、症状のないもの（無症候性）から合併症による重症の肺炎、死亡まで幅が広いです。潜伏期間は2日〜14日間程と言われています。また感染経路としては、ウイルスが付着した手で鼻や目や口を触ることによる接触感染と、咳やくしゃみによる飛沫感染があります。

通常のインフルエンザウイルスと同様の感染予防法が有効であると考えられており、手指や顔を石鹸で洗う、粘膜を護るために室内の湿度を50〜60%に保つ、などが有効です。また室内換気の励行、人の多い場所に行かない、咳や発熱などの症状のある人に近づかないなども重要です。

3密といわれる「密閉・密集・密接」を避けることが推奨されています。

### すぎなみきッズとしての対策

天気の良い日は全ての窓を開けておき換気を十分にしております。また各事業所入り口にそれぞれ消毒液を設置し、職員・利用者様・保護者様・事業者様皆さんに入館の際の消毒をお願いしております。またすぎなみき学園・すぎなみきタウンにはオゾン除菌脱臭機が設置されており、利用者様がいらつしやらないタイミングでオゾンにて空気の燻蒸を行っております。

3月より外出・外泊の規制をしており、利用者様・保護者様には大変お辛い思いをさせてしまっておりまして申し訳ございません。不足気味でしたマスクにおいては、入所・短期入所・グループホームの利用者様では保護者様より寄付していただいた布マスクを洗濯して使用しております。

他県にて起こってしまった施設における集団感染の恐れは今後も残っております。第二波の不安も残っており、予断を許さない状況が続きますが、引き続き施設として可能な限りの対策をとってまいります。

看護師・課長

増田 由起



オゾン除菌脱臭機 大活躍です！

## ご存じですか？



# アマビエ

江戸時代に「疫病が流行したら、私の姿を描き写した絵を人々に早々に見せよ。」と予言めたことを告げ海に帰ったとされ、ツイッター等で流行しました。すぎなみキッズでも製作物としてアマビエ様の飾りを作成し、疫病の収束を祈願しました。

日本に伝わる妖怪。海中から光を起こし、豊作・疫病などに関する予言をしたとされる。



すぎなみキッズでも祈願しました！

# 施設長だより



皆様のご健勝とご自愛を

お祈りいたします

社会福祉法人 すぎなみき会

理事長 峯山 敏正



げます。

さて、前号の最後に『本年が災害や事故がなく幸せな一年なることを願い、引き続き、きめ細やかなサービスの提供に努めていきます』とご挨拶させていただきましたが、その後、新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るい、感染が急速に広がっているのが現状です。この未曾有の事態は誰も予測しなかったことで、「世の中、何があるかわからない」と強く実感しているところです。  
法人としては日々感染症の予防に努め、日光エリア、栃木エリア共に特に変わりなく、事業を行っていることをご報告いたします。

ところで、社会福祉法人は、老人ホームの経営等の社会福祉事業を行うことを目的として、社会福祉法の定めるところにより設立される法人であり、これまで潰れることはないと言われていました。しかし、人材確保等が大きな課題になり、社会福祉法人の30%が「赤字」に陥っているのが現状です。

2019年の「老人福祉・介護事業」の倒産は、111件（前年比4.7%増）でした過去最多の2017年の111件と同数で、2年ぶりに増加とのことです。負債総額も161億6800万円（同97.3%増）と急増です。

一方、2019年の「障害者福祉事業」の倒産は30件でした。調査を開始した2000年以降、過去最多だった2017年と2018年の各23件を大幅に（30.4%増）上回り、最多記録を更新したとのことです。

それぞれ、事業所の規模が小さく、業歴も浅い事業所の倒産が多いと言えますが、社会福祉法人の倒産も含まれており、今後は収益を上げる等「人材を確保」ができる安定した経営の継続が求められます。

そのためには、時流を読み、ニーズを把握し、事業（サービス）の統廃合や新たなサービスの創設等、柔軟な発想で法人運営をしていくことが重要になると考えます。新型コロナウイルスの感染が広がる中、まだまだ先が見えない日々が続きますが、皆様のご健勝とご自愛を心からお祈り申し上げます。

# 副施設長



災害は「ちよくちよく」  
なっている

すぎなみき学園

副施設長 井上 恵一



ちよくやつてくる」に変わったようです。

昨年10月12日(土)の台風19号の被害は県内に多くの被害をもたらし、私どもの仲間の施設も甚大な被害を受けました。日光市では大雨特別警報が発令され暴風雨による倒木等の被害が相次ぎました。

この日、すぎなみき学園では風雨が強くなるなか施設内で台風をやり過ごす予定でしたが、施設周辺の道路や沢の状況から最終的に理事長の判断を仰ぎ、短期入所を含む入所利用者約40人全員を災害の恐れのない「すぎなみきタウン」に避難する事としました。

大雨の中、施設の玄関付近にマイクروبス、ワゴン車やリフトカーを着け利用者を誘導し乗車させると同時に毛布を積み込み、非常用の持ち出し袋、転送用の携帯電話等を持ち移動を開始しました。

すぎなみきタウンに到着し利用者をホールに誘導し終え、全員無事避難できたことに安堵しました。そしてこの時の全員避難は、すぎなみき学園の開所以来初めてでした。また、一晩すぎなみき学園を一人一人いない空の状態にする事も初めての事で、契約している警備会社状況に連絡し警戒協力を改めて依頼いたしました。

この経験の反省から今後同様な時には、早めの避難を実施する事としました。また、必要な備品等を「すぎなみきタウン」に備蓄し「ちよくちよくやつてくる」災害に備えています。



翌日、すぎなみき学園に唯一接道する南側道路にはラグビーボール大の岩が山からゴロゴロと流出しており、沢の水が溢れ川のようにであった



みつみねの郷・NOW!!

各種サービスのご紹介です④



第4回目は「デイサービスみつみねの郷」を紹介させていただきます。

施設長 高橋 勲

平成23年7月にオープンし、今年で9年目を迎えました。正式な名称は「共用型認知症対応型通所介護」といい、「特別養護老人ホームみつみねの郷」のユニット（1丁目と2丁目）に、それぞれ1日2名の認知症の方が通うことができるサービスです。特別養護老人ホームのスタッフと施設機能を「共用」するスタイルで、県下初のサービスとして注目を集めスタートしました。

特徴としては、地域密着型サービスなので新しい環境になじむことへの負担が大きいとされる認知症の方にとって、なじみの地域・なじみの人々と、つながりを保ち続けることができる仕組みになっています。また、事業所の地域への透明性を高め、

地域と連携した運営やサービスを行うため、寺尾地区包括支援センター職員、地区民生委員会長、ご家族様代表等が参加する「運営推進会議」を半年に1回開催しています。さらに、このサービスの大きなセールスポイントは次の2点です。

【その1】ご利用の負担が低額であること  
例えば、要介護5で7時間から8時間ご利用された場合、単独型の施設が1日1420単位なのに比べ、共用型の場合は1日595単位と、ご負担が低く設定されています。そのため、限度額に収まる範囲で、他事業所のサービスも上手に併用する方もいます。

【その2】365日営業していること  
一般の事業所はお休みの日がありますが、特別養護老人ホームでサービスを提供するので、いわゆる「益暮れ関係なく」365日ご利用いただけます。そのため、ご家族の介護負担が大きく軽減され、大変喜ばれております。また、特別養護老人ホームのスタッフと、なじみの関係が作れるので「将来、入居しても安心です」のお声が多く聞かれます。

以上、「デイサービスみつみねの郷」のご紹介をさせていただきました。  
今後も地域の皆様の「お役に立ち、喜ばれるサービス」の提供に努めますので、よろしくお願い申し上げます。



端午の節句



ひな祭り



カラフル綿あめ

上半期の行事  
の様子です



七夕～星に願いを～



ヨーヨー釣り

夏祭り



的当て&ポップコーン



Toポスト ～ご家族あての暑中見舞い～

# 梅の実信 のはな通信



## コロナ禍で感じたこと

梅の実・梅のはな

施設長 峯山直巳



現在、コロナウィルス感染症の対応で苦慮されているかと思えます。当施設で

は現在のところ、面会の自粛等はお願している程度で、混乱もなく業務を行うことができています。

感染症のリスクが高い首都圏では、『リモートワーク』の実施が必須のようです。

報道等の映像をみますと、導入に関してはスムーズにいった企業は、少数なのではないかと感じてしまいます。ましてや、福祉業界となると対人援助が基本となることから、さらにハードルがあがるのではないかと感じていました。

●福祉施設では、リモートワークは不要か？

福祉の業界は、一見『リモートワークは不要。』と考えがちです。しかし、

事業継続マネジメントの観点から、準備をしておくのは必要です。

理由としては

①直接支援が主要業務であるが、多くの事務業務を並行して行っている。業務の切り分けを行い、業務をウェブ上で共有することで、本来業務に集中できる体制を構築することができる。

②生活スペースとオフィススペース分離することで、感染症のリスクは、軽減可能。

といったものがあります。

●当施設での取り組み

以前より、栃木市の事業所は、ビジネスチャット等を活用し、業務の効率化を行ってきました。

また、先日、Chatwork活用コンテストに応募し、特別審査賞をいただくことができました。(詳しくは、Chatwork社のブログを御覧下さい。)

【受賞者インタビュー】アナログだった現場が一変！Chatworkで福祉施設の業務を大幅効率化

また、最近ではサイボウズ社のキントーンを導入し、情報の共有を進めており、多くの仕事を場所に囚われずに行う体制が整いつつあります。

今回の状況は、想定外で困難でありましたが、福祉業界が良い変化に繋がってくればと願っています。今回の事業が、利用者の方の自立の実現に、貢献出来たらいいなと考えています。

## 上半期の行事 のご様子です



# すきなみき トピックス

## マスク ご提供いただきました

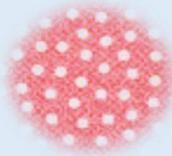
ありがとうございます！  
(ごいさま！)

新型コロナウイルス騒動で、全世界的にマスクが品薄になり、インターネット上で異常な金額で売買される等、異様な騒ぎになったのは皆さんご記憶に新しいと思います。施設においても同様で、利用者様のみならず職員もなかなかマスクを手に入れる事が難しくなっております。

布製マスクを手作りする職員も多くおりましたが、利用者様の保護者様である伊藤様より約200枚、八木澤様より約100枚、大田原様より約50枚の布マスク、竹内様ご親戚の松ノ下様より大人用約1000枚、子供用1000枚、阿部様より約40枚の不織布マスク等をご提供いただきました。布製の物は洗濯して何回も使用しております。非常に重宝させて頂いております。誠にありがとうございました。



きれいなデザインのものも数多くいただきました。



## 令和元年度 共同募金 配分事業完了のお知らせ



社会福祉法人 すきなみき会

理事長 峯山 敏正

この度、令和元年度の栃木県共同募金の配分を受けて、左記の事業を完了いたしました。ここに、事業が完了しましたことを報告申し上げますとともに、共同募金会並びにご協力を賜りました皆様に謹んで感謝の意を表します。

記

### 事業名

利用者の通院・外出のための自動車整備

### 事業内容

トヨタ エスクアエア



ZRRR85G-CRXP (8人乗り)

事業費総額 3,058,440円

補助金額 1,500,000円

実施施設 障害者支援施設すきなみき学園

## 遊具設備が やってきた!



表紙写真にも使用したように、6月17日にすぎなみきタウン運動場にアンパンマンのすべり台とスプリング遊具が搬入されました！みらいのきのちびっこも大喜び！



## 編集後記

この度のコロナ騒動で東京オリンピックを始め、様々なイベントが中止になってしまいましたね。帰省や外出も制限されて皆ストレスが溜まっている事でしょう。先の見通しが立たないことほど不安を感じさせる事はありません。この先なんとか光明が見えてくることを祈ってやみません。もう少し、あと少しだけ頑張りましょう！

広報誌担当

岩崎 大島(有) 大島(美) 出井 大貫

## 訃報

去る令和二年三月二十六日、前利用者家族会会長の柿沼登様が八十五歳にてご逝去されました。

御生前は会長として家族会の運営に多数のご尽力を頂きました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

社会福祉法人 すきなみき会